

2006年6月15日

会社名 株式会社 高島屋  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治  
 コト番号 8233

## 2006年5月度 高島屋営業報告

### 【総計】(前年対比、単位：%)

(株)高島屋計	分社4店含む実質
+2.0	+2.3

5月度は百貨店事業、広域事業ともに前年売上実績を上回り、分社4店含む実質では+2.3%となった。前年実績のクリアは昨年9月度以降続き、9ヵ月連続となった。

分社4店とは、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋です。

### 【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+1.1	+1.5

不安定な天候が影響して初夏・夏向けのファッションアイテムは出足が鈍かったが、堅調な食料品、美術・宝飾品等の高額品の動き、各種営業施策の奏効により、18店中12店が前年売上実績を上回った。18店計の売上は+1.5%で、8ヵ月連続の前年実績クリアとなった。

### 【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大阪店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	6.8	+1.4	+5.0	0.2	+20.7	2.3
入店客数	7.7	2.7	+1.0	+0.3	+26.5	+1.8

関西地区合計	
分社3店除く	9店計
2.9	1.4

大阪店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

大阪店・京都店の入店客数はそれぞれ単店になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+4.7	+5.9	0.7	+4.7	+0.2	4.1	+0.2	+1.9
入店客数	+4.0	0.3	7.7	2.8	0.8	4.6	6.7	1.1

関東地区合計	
分社1店除く	9店計
+3.3	+3.3

横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

横浜店の入店客数は単店になります。

関西地区では9店中5店が前年売上実績を上回った。大阪店は美術で高額商品に動きがあったが、特選衣料雑貨、紳士・婦人服や雑貨等が伸び悩み、前年実績に至らなかった。京都店は呉服が前年から2桁の売上増、紳士服や食料品等でも改装した売場が好調に推移して3ヵ月連続で前年実績を上回った。洛西店、泉北店、岐阜店もリニューアル効果が持続して前年実績を上回った。

関東地区では、9店中7店が前年売上実績を上回った。東京店は4月に改装した呉服や美術・特選衣料雑貨等の高額商品群が好調で2ヵ月ぶり前年実績をクリアした。横浜店は宝飾品・呉服・リビングに加え、紳士・婦人服や雑貨等も好調で昨年5月から13ヵ月連続で前年実績を上回った。新宿店は宝飾品や紳士服・雑貨、食料品等が順調であったが、リビング、特選衣料雑貨等が伸び悩み、前年実績を僅かに下回った。玉川店は11ヵ月連続、高崎店は15ヵ月連続で前年実績をクリアした。

### 【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域事業計
売上高	+14.6	+16.4	+15.2

法人事業は、新規大型物件を受注した企業向け販促品等が寄与し、前年売上実績を大きく上回った。通販事業は、5/8発行のカタログ商品で婦人衣料・雑貨、リビング、食料品等が好調に推移し、前年実績を2桁上回った。

### 【商品別概況(百貨店協会商品区分)](前年対比、単位：%)

	(株)高島屋計	分社含む実質
紳士服・洋品	2.1	1.5
婦人服・洋品	+0.3	+0.4
子供服・洋品	+1.2	+1.0
その他衣料品	+5.9	+3.9
衣料品計	+0.2	+0.3

	(株)高島屋計	分社含む実質
身のまわり品	0.5	0.0
家具	+2.8	+2.1
家電	+13.5	+12.4
その他家庭用品	+7.9	+7.5
家庭用品計	+6.8	+6.3

	(株)高島屋計	分社含む実質
食料品	+4.0	+4.9
食堂・喫茶	0.9	0.1
雑貨	+4.8	+4.8
サービス	+6.3	+5.6
その他	0.5	0.0
合計	+2.0	+2.3

#### 当社分類による百貨店事業の商品別概況

半年に比べて気温が上がらず、不安定な天候の影響で初夏・夏向けの衣料品や雑貨は出足が鈍かった。その反面で薄手のコートやジャケット、トレーナー、ストール等の羽織ものが動いた。紳士服(前年対比+2.0%)は、ケルビス関連でワイシャツのほか、吸汗速乾や消臭といった機能性や深いVネック等のデザイン性のある肌着が好調だった。婦人服(同+1.3%)はトレンドアイテムであるワンピースが引き続き好調なほか、ヤング・キャリアゾーンではクロップドパンツ等に動きが見られた。婦人雑貨(同+0.4%)では雨傘の動きが良いほか、婦人アクセサリ、ハンドバッグ等の主要アイテムは堅調に推移した。その他、美術(同+31.2%)、食料品(同+5.6%)、紳士雑貨(同+2.8%)、宝飾品(同+2.2%)、リビング(同+2.2%)、呉服(同+0.3%)等が前年実績を上回った。